

『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- ・各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

宗教学専攻プログラム

履修のしかた

- ・履修の仕方、全般的なこと
 - ① 5つの履修モデルを参照してください。
 - ② 各自の希望に合わせて、履修ガイドを確認しながらメジャーは32単位、マイナーは20単位取得すること。
- ・1年次に履修しておいた方がいい科目：「キリスト教と他宗教」(秋)
- ・2年次に履修しておいた方がいい科目：「日本の宗教」(春)、「宗教学概論」(春)

他の専攻プログラムとの関係

- ・特に関連性のつよい専攻プログラム
キリスト教専攻プログラム、哲学専攻プログラム、倫理学専攻プログラム、文化人類学専攻プログラム 歴史学専攻プログラム
- ・マイナーとして推奨する専攻プログラム
日本語日本文学専攻プログラム、社会学専攻プログラム、教育学（教職教育）専攻プログラム、地域研究専攻プログラム、国際協力専攻プログラム、博物館学専攻プログラム
- ・他の専攻プログラムで履修を推奨する科目
「哲学概論」「平和論」「宗教と教育」「難民・移民の人権」など

留学・教職その他

- ・留学について： 応援します。
- ・教職について： 履修ガイドの教職ページを参照すること。
- ・毎年開催しているイベント： 新年会（2・3・4合同）・夏のゼミ合宿

学生へのメッセージ

当専攻プログラムの魅力：

従来の「排他的」あるいは「包括的」な宗教理解ではなく、新たな「多元的」な宗教理解を探究します。「宗教多元主義」の理論を学び、諸宗教の実態を積極的に学び、理解することにより、自己の生まれ育った国、文化、宗教についてのより深い理解を身につけていきます。そして、他宗教に生きる人々への「寛容な精神」を養います。

来てほしい学生像、履修学生に望まれる学習姿勢：

他者の喜びを共にし、また他者の痛みに寄り添うことのできる学生、積極的に議論に参加する学生を望みます。

専攻プログラムの教育方針：

問い続け、戸惑い、苦悩しながら「考える力」を身につける。
各自、自由に研究テーマを設定し、論文作成に取り組んでください。

補足：

履修ガイドの「宗教学専攻の特徴」と「カリキュラムの特徴」を必ず読んでおくこと。

宗教学専攻プログラム

1 宗教学・基本履修モデル(人文科学分野)

本履修モデルは、宗教学を専攻(メジャー)にする学生にとって基本となるモデル・プログラムです(人文科学分野には、キリスト教学、宗教学、哲学、倫理学、文化人類学、歴史学が含まれています)。

宗教学の研究は「宗教とは何か」と問い、これを客観的に考えるところから始まります。現代では、宗教を信じる・信じないに関わらず、宗教リテラシー(社会生活の様々な場面で遭遇する事態に対し、適切に対処するための判断材料となる宗教知識、判断力、理解力、運用能力)が求められています。多元的社会における宗教の在り方を、複数の宗教についての比較研究をすることから始めてください。理念(規範)研究、と実態(記述)研究をバランスよく履修することを勧めます。

下記の推奨科目を基本にして履修計画を立ててみて下さい。その他、他専攻の科目から個人的に関心のある諸科目を適宜加えて下さい。そして専攻演習Ⅰ、Ⅱをできる限り履修し、先ずはゼミ論に集中して下さい。卒業論文は全員に推奨しています。推薦図書は、J. ヒック『神は多くの名前を持つ』、『宗教多元主義』、遠藤周作『深い河』等です。その他、学生の関心や力に応じて専門書をテキストとして紹介します。

宗教学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入・基礎		CHR1020L	キリスト教史	2		ENV2350L	人と自然	2		PSY3146L	宗教心理学	2				
	◎	REL1000L	宗教学概論	4		ANT2110L	宗教人類学	4		ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2				
理論						LIT2030L	中国思想史	4		AMS3130L	アメリカ思想史	4				
						ETH2020L	日本思想史	4		ETH3320L	社会思想史	4				
					◎	REL2300L	日本の宗教	4		ANT3111L	儒教文化論	4				
					○	ANS2380L	アジアの思想と宗教	4		ANT3112L	仏教文化論	4				
						REL2350L	西洋文明と思想	4		CHR3340L	キリスト教文化論	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4		ANT3110L	イスラーム文化論	4				
応用						ETH2340L	倫理学研究特論A	2	◎	REL3150L	宗教学研究特論	2				
						PHL2371L	哲学の諸問題A	4		PHL3371L	哲学研究特論A	2				
						PHL2372L	哲学の諸問題B	4		PHL3372L	哲学研究特論B	2				
									◎	REL3130L	宗教学の諸問題	2				
										CHR3150L	一神教研究	2				
									ETH3150L	倫理学の諸問題A	4					

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕
- ・民族研究〔4〕
- ・アジア研究特論〔4〕
- ・アジア女性論〔4〕
- ・東アジアの現代社会〔4〕
- ・文化人類学特論〔4〕
- ・人間の安全保障〔4〕
- ・文化社会学〔4〕
- ・キリスト教と教育〔2〕
- ・キリスト教と他宗教〔2〕
- ・キリスト教と社会〔2〕
- ・環境と文明〔4〕
- ・環境とキリスト教〔2〕
- ・キリスト教神学概論〔2〕
- ・倫理学概論〔4〕
- ・日本史概論〔4〕
- ・日本文化論〔4〕
- ・日本民俗学〔2〕
- ・日本のジャーナリズム〔2〕
- ・情報と倫理〔2〕
- ・アジアの歴史Ⅰ〔4〕
- ・アジアの歴史Ⅱ〔4〕
- ・日米関係論〔4〕
- ・国際政治論〔4〕
- ・国際協力論〔4〕
- ・国際関係思想〔4〕
- ・西洋文明と思想〔4〕
- ・アメリカ社会史〔4〕
- ・平和論〔4〕
- ・平和構築論〔4〕
- ・世界史概論〔4〕
- ・ロシアの社会と文化〔4〕
- ・アメリカの文化〔4〕
- ・哲学概論〔4〕
- ・世界史における日本〔4〕
- ・宗教と教育〔2〕

宗教学専攻プログラム

2 宗教学+地域研究分野

本履修モデルは、宗教学+地域研究分野(アメリカ地域研究、アジア地域研究、日本地域研究)に興味を持っている学生へのモデル・プログラムです。宗教を学び、現代を読み解く視点においてフィールドワーク(現地調査)に基づく研究は、大切な一つの方法論です。アジア・アメリカ・日本など具体的な地域の歴史や宗教文化、政治・経済などを学び、幅広い教養を身につけてください。

下記の推奨科目を基本にして履修計画を立ててみて下さい。その他、他専攻の科目から個人的に関心のある諸科目を適宜加えて下さい。そして専攻演習Ⅰ、Ⅱをできる限り履修し、先ずはゼミ論に集中して下さい。卒業論文は全員に推奨しています。

宗教学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入・基礎		CHR1020L	キリスト教史	2		ANT2110L	宗教学人類学	4		ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2				
	◎	REL1000L	宗教学概論	4												
理論						LIT2030L	中国思想史	4		AMS3130L	アメリカ思想史	4				
						ETH2020L	日本思想史	4		ETH3320L	社会思想史	4				
					◎	REL2300L	日本の宗教	4		ANT3111L	儒教文化論	4				
					○	ANS2380L	アジアの思想と宗教	4		ANT3112L	仏教文化論	4				
						REL2350L	西洋文明と思想	4		CHR3340L	キリスト教文化論	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4		ANT3110L	イスラーム文化論	4				
応用						ETH2340L	倫理学研究特論A	2	◎	REL3150L	宗教学研究特論	2				
						PHL2371L	哲学の諸問題A	4		PHL3371L	哲学研究特論A	2				
						PHL2372L	哲学の諸問題B	4		PHL3372L	哲学研究特論B	2				
									◎	REL3130L	宗教学の諸問題	2				
									ETH3150L	倫理学の諸問題A	4					

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕
- ・民族研究〔4〕
- ・アジア研究特論〔4〕
- ・アジア女性論〔4〕
- ・東アジアの現代社会〔4〕
- ・キリスト教と他宗教〔2〕
- ・キリスト教と社会〔2〕
- ・文化社会学〔4〕
- ・環境とキリスト教〔2〕
- ・環境と文明〔4〕
- ・倫理学概論〔4〕
- ・日本史概論〔4〕
- ・アメリカ研究概論〔4〕
- ・アジア研究概論〔4〕
- ・日本文化論〔4〕
- ・日本民俗学〔2〕
- ・アジアの歴史Ⅰ〔4〕
- ・アジアの歴史Ⅱ〔4〕
- ・アメリカ社会史〔4〕
- ・日米関係論〔4〕
- ・国際政治論〔4〕
- ・国際協力論〔4〕
- ・国際関係思想〔4〕
- ・西洋文明と思想〔4〕
- ・アメリカ社会史〔4〕
- ・日本国憲法〔2〕
- ・日米交流史〔4〕
- ・日中交流史〔2〕
- ・日韓交流史〔4〕
- ・日露文化交流史〔4〕
- ・世界史概論〔4〕
- ・ロシアの社会と文化〔4〕
- ・アメリカの文化〔4〕
- ・哲学概論〔4〕
- ・世界史における日本〔4〕
- ・宗教と教育〔2〕

宗教学専攻プログラム

3 宗教学+心理教育分野

本履修モデルは、宗教学専攻プログラムをマイナーとして、心理学、教育学(教職教育)と同時に履修する場合のモデル・プログラムとして紹介します。心理学においては宗教及び宗教体験を中心に、人間存在の根底を支えている宗教の影響を考察します。教育学(教職教育)においては、政教分離、信教の自由と関わる[教]とは何なのか、問い学ぶことから始めてはいかがでしょうか。

下記の推奨科目を基本にして履修計画を立ててみて下さい。その他、下記の他専攻の科目から個人的に関心のある諸科目を適宜加えて下さい。そして専攻演習Ⅰ、Ⅱをできる限り履修し、先ずはゼミ論に集中して下さい。卒業論文は全員に推奨しています。

宗教学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入・基礎		CHR1020L	キリスト教史	2		ENV2350L	人と自然	2	○	PSY3146L	宗教心理学	2				
	◎	REL1000L	宗教学概論	4		ANT2110L	宗教人類学	4		ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2				
理論						LIT2030L	中国思想史	4		AMS3130L	アメリカ思想史	4				
						ETH2020L	日本思想史	4		ETH3320L	社会思想史	4				
					◎	REL2300L	日本の宗教	4		ANT3111L	儒教文化論	4				
						ANS2380L	アジアの思想と宗教	4		ANT3112L	仏教文化論	4				
						REL2350L	西洋文明と思想	4		CHR3340L	キリスト教文化論	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4		ANT3110L	イスラム文化論	4				
応用						ETH2340L	倫理学研究特論A	2	◎	REL3150L	宗教学研究特論	2				
						PHL2371L	哲学の諸問題A	4		PHL3371L	哲学研究特論A	2				
						PHL2372L	哲学の諸問題B	4		PHL3372L	哲学研究特論B	2				
									◎	REL3130L	宗教学の諸問題	2				
										CHR3150L	一神教研究	2				
									ETH3150L	倫理学の諸問題A	4					

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕
- ・キリスト教と教育〔2〕
- ・キリスト教と他宗教〔2〕
- ・キリスト教と社会〔2〕
- ・東アジアの現代社会〔4〕
- ・現代アジアの教育と文化〔2〕
- ・教育・学校心理学〔2〕
- ・教育方法論〔2〕
- ・倫理学概論〔4〕
- ・教育概論〔2〕
- ・教育哲学〔2〕
- ・教育思想〔2〕
- ・国際協力論〔4〕
- ・情報と倫理〔2〕
- ・西洋文明と思想〔4〕
- ・日本国憲法〔2〕
- ・平和論〔4〕
- ・平和構築論〔4〕
- ・世界史概論〔4〕
- ・哲学概論〔4〕
- ・世界史における日本〔4〕
- ・宗教と教育〔2〕

宗教学専攻プログラム

4 宗教学+言語・文学分野

本履修モデルは、宗教学+言語・文学分野(英語学・英文学、中国言語文化、日本語日本文学、日本語教育、言語学、コミュニケーション学、現代・世界文学)に興味を持っている学生へのモデル・プログラムです。

宗教は言語を介して営まれており、その営みの中には社会的・倫理的な現実が映し出されています。言葉の世界の中には[神の実在]、霊、救い、悟り、戒律など神秘的なものが息づき、メッセージがこめられています。そしてそれらを理解する際には多様な解釈の可能性が許されています。是非、宗教言語の世界にも挑戦してみてください。

下記の推奨科目を基本にして履修計画を立ててみてください。その他、下記の他専攻の科目から個人的に関心のある諸科目を適宜加えて下さい。そして専攻演習Ⅰ、Ⅱをできる限り履修し、先ずはゼミ論に集中して下さい。卒業論文は全員に推奨しています。

宗教学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入・基礎	◎	CHR1020L	キリスト教史	2		ENV2350L	人と自然	2		PSY3146L	宗教心理学	2				
		REL1000L	宗教学概論	4		ANT2110L	宗教人類学	4		ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2				
理論						LIT2030L	中国思想史	4		AMS3130L	アメリカ思想史	4				
						ETH2020L	日本思想史	4		ETH3320L	社会思想史	4				
					◎	REL2300L	日本の宗教	4		ANT3111L	儒教文化論	4				
					○	ANS2380L	アジアの思想と宗教	4		ANT3112L	仏教文化論	4				
						REL2350L	西洋文明と思想	4		CHR3340L	キリスト教文化論	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4		ANT3110L	イスラーム文化論	4				
応用						ETH2340L	倫理学研究特論A	2	◎	REL3150L	宗教学研究特論	2				
						PHL2371L	哲学の諸問題A	4		PHL3371L	哲学研究特論A	2				
						PHL2372L	哲学の諸問題B	4		PHL3372L	哲学研究特論B	2				
									◎	REL3130L	宗教学の諸問題	2				
									CHR3150L	一神教研究	2					
									ETH3150L	倫理学の諸問題A	4					

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕
- ・近代文学の世界〔4〕
- ・現代文学の世界〔4〕
- ・キリスト教と他宗教〔2〕
- ・キリスト教と社会〔2〕
- ・言語とジェンダー〔4〕
- ・中国文学概論〔4〕
- ・中国文化概論〔4〕
- ・日本史概論〔4〕
- ・日本語学概論〔2〕
- ・日本文化論〔4〕
- ・言語学への招待〔2〕
- ・アジアの歴史Ⅰ〔4〕
- ・アジアの歴史Ⅱ〔4〕
- ・東アジアの現代社会〔4〕
- ・文化社会学〔4〕
- ・イギリスの文化〔4〕
- ・現代コミュニケーション理論〔4〕
- ・世界史概論〔4〕
- ・ロシアの社会と文化〔4〕
- ・アメリカの文化〔4〕
- ・哲学概論〔4〕
- ・世界史における日本〔4〕
- ・宗教と教育〔2〕

宗教学専攻プログラム

5 宗教学＋社会科学分野

本履修モデルは、宗教学(人文科学分野)＋社会科学分野(国際関係、国際協力、社会学、国際経済、ビジネスエコノミクス、公共政策、メディア(ジャーナリズム)、博物館学)に興味を持っている学生へのモデル・プログラムです。

現代の情報化社会において、宗教の役割とは何でしょうか。営利活動といえども、[人に尽くす愛の精神]と無関係に成り立っているものはないと言えるでしょう。また国際社会において、諸々の世界宗教を知らずして対話や協力、共存や平和への道はありません。

下記の推奨科目を基本にして履修計画を立ててみて下さい。その他、下記その他専攻の科目から個人的に関心のある科目を適宜加えて下さい。そして専攻演習Ⅰ、Ⅱをできる限り履修し、先ずはゼミ論に集中して下さい。卒業論文は全員に推奨しています。

宗教学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入・基礎		GEG1100L	文化地理学	4		ENV2350L	人と自然	2		PSY3146L	宗教心理学	2				
		CHR1020L	キリスト教史	2		ANT2110L	宗教人類学	4		ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2				
	◎	REL1000L	宗教学概論	4												
理論						LIT2030L	中国思想史	4		AMS3130L	アメリカ思想史	4				
						ETH2020L	日本思想史	4		ETH3320L	社会思想史	4				
					◎	REL2300L	日本の宗教	4		ANT3111L	儒教文化論	4				
					○	ANS2380L	アジアの思想と宗教	4		ANT3112L	仏教文化論	4				
						REL2350L	西洋文明と思想	4		CHR3340L	キリスト教文化論	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4	○	ANT3110L	イスラーム文化論	4				
応用						ETH2340L	倫理学研究特論A	2	◎	REL3150L	宗教学研究特論	2				
						PHL2371L	哲学の諸問題A	4		PHL3371L	哲学研究特論A	2				
						PHL2372L	哲学の諸問題B	4		PHL3372L	哲学研究特論B	2				
									◎	REL3130L	宗教学の諸問題	2				
										CHR3150L	一神教研究	2				
									ETH3150L	倫理学の諸問題A	4					

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕
- ・キリスト教と教育〔2〕
- ・キリスト教と他宗教〔2〕
- ・キリスト教と社会〔2〕
- ・社会学概論〔4〕
- ・政治学概論〔4〕
- ・倫理学概論〔4〕
- ・日本史概論〔4〕
- ・情報と社会〔2〕
- ・情報と倫理〔2〕
- ・アジアの歴史Ⅰ〔4〕
- ・アジアの歴史Ⅱ〔4〕
- ・政治経済学〔4〕
- ・文化社会学〔4〕
- ・日米関係論〔4〕
- ・国際政治論〔4〕
- ・国際協力論〔4〕
- ・国際関係思想〔4〕
- ・西洋文明と思想〔4〕
- ・平和論〔4〕
- ・平和構築論〔4〕
- ・国際交流論〔4〕
- ・難民・移民の人権〔4〕
- ・人間の安全保障〔4〕
- ・国際関係史Ⅰ〔4〕
- ・国際関係史Ⅱ〔4〕
- ・世界史概論〔4〕
- ・アメリカの文化〔4〕
- ・哲学概論〔4〕
- ・世界史における日本〔4〕
- ・宗教と教育〔4〕

『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- ・各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

宗教学専攻プログラム

<p>履修のしかた</p> <ul style="list-style-type: none">・履修の仕方、全般的なこと<ul style="list-style-type: none">① 5つの履修モデルを参照してください。② 各自の希望に合わせて、履修ガイドを確認しながらメジャーは32単位、マイナーは20単位取得すること。・1年次に履修しておいた方がいい科目：「キリスト教入門」・2年次に履修しておいた方がいい科目：「日本の宗教」（春）、「宗教学概論」（春）
<p>他の専攻プログラムとの関係</p> <ul style="list-style-type: none">・特に関連性のつよい専攻プログラム キリスト教学専攻プログラム、哲学専攻プログラム、倫理学専攻プログラム、文化人類学専攻プログラム 歴史学専攻プログラム・マイナーとして推奨する専攻プログラム 日本語日本文学専攻プログラム、社会学専攻プログラム、教育学（教職教育）専攻プログラム、地域研究専攻プログラム、国際協力専攻プログラム、博物館学専攻プログラム・他の専攻プログラムで履修を推奨する科目 「哲学概論」「平和論」「宗教と教育」「難民・移民の人権」など
<p>留学・教職その他</p> <ul style="list-style-type: none">・留学について： 応援します。・教職について： 社会科の教員を目指す学生は「宗教学概論」が必修科目です（履修ガイドの教職ページを参照すること）。・毎年開催しているイベント： 新年会（2・3・4合同）・夏のゼミ合宿
<p>学生へのメッセージ</p> <p>当専攻プログラムの魅力：</p> <p>従来の「排他的」あるいは「包括的」な宗教理解ではなく、新たな「多元的」な宗教理解を探究します。「宗教多元主義」の理論を学び、諸宗教の実態を積極的に学び、理解することにより、自己の生まれ育った国、文化、宗教についてのより深い理解を身につけていきます。そして、他宗教に生きる人々への「寛容な精神」を養います。</p> <p>来てほしい学生像、履修学生に望まれる学習姿勢：</p> <p>他者の喜びを共にし、また他者の痛みに寄り添うことのできる学生、積極的に議論に参加する学生を望みます。</p> <p>専攻プログラムの教育方針：</p> <p>問い続け、戸惑い、苦悩しながら「考える力」を身につける。 各自、自由に研究テーマを設定し、論文作成に取り組んでください。</p> <p>補足：</p> <p>履修ガイドの「宗教学専攻の特徴」と「カリキュラムの特徴」を必ず読んでおくこと。</p>

宗教学専攻プログラム

1 宗教学・基本履修モデル(人文科学分野)

本履修モデルは、宗教学を専攻(メジャー)にする学生にとって基本となるモデル・プログラムです(人文科学分野には、キリスト教学、宗教学、哲学、倫理学、文化人類学、歴史学が含まれています)。

宗教学の研究は[宗教とは何か]と問い、これを客観的に考えるところから始まります。現代では、宗教を信じる・信じないに関わらず、宗教リテラシー(社会生活の様々な場面で遭遇する事態に対し、適切に対処するための判断材料となる宗教知識、判断力、理解力、運用能力)が求められています。多元的社会における宗教の在り方を、複数の宗教についての比較研究をすることから始めてください。理念(規範)研究、と実態(記述)研究をバランスよく履修することを勧めます。

下記の推奨科目を基本にして履修計画を立ててみてください。その他、他専攻の科目から個人的に関心を持てる諸科目を適宜加えて下さい。そして専攻演習Ⅰ、Ⅱをできる限り履修し、先ずはゼミ論に集中して下さい。卒業論文は全員に推奨しています。推薦図書は、J. ヒック『神は多くの名前を持つ』、『宗教多元主義』、遠藤周作『深い河』等です。その他、学生の関心や力に応じて専門書をテキストとして紹介します。

宗教学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入・基礎	◎	CHR1020L	キリスト教史	2		ENV2350L	人と自然	2								
		REL1000L	宗教学概論	4		ANT2110L	宗教学概論	4								
理論						LIT2030L	中国思想史	4		PSY3146L	宗教心理学	2				
						ETH2020L	日本思想史	4		ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2				
					◎	REL2300L	日本の宗教	4		AMS3130L	アメリカ思想史	4				
					○	ANS2380L	アジアの思想と宗教	4		ETH3320L	社会思想史	4				
						REL2350L	西洋文明と思想	4		ANT3111L	儒教文化論	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4		ANT3112L	仏教文化論	4				
										CHR3340L	キリスト教文化論	4				
応用										ANT3110L	イスラーム文化論	4				
						ETH2340L	倫理学研究特論A	2	◎	REL3150L	宗教学研究特論	2				
						PHL2371L	哲学の諸問題A	4		PHL3371L	哲学研究特論A	2				
						PHL2372L	哲学の諸問題B	4		PHL3372L	哲学研究特論B	2				
									◎	REL3130L	宗教学の諸問題	2				
									CHR3150L	一神教研究	2					
									ETH3150L	倫理学の諸問題A	4					

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕
- ・民族研究〔4〕
- ・アジア研究特論〔4〕
- ・アジア女性論〔4〕
- ・東アジアの現代社会〔4〕
- ・文化人類学特論〔4〕
- ・人間の安全保障〔4〕
- ・文化社会学〔4〕
- ・キリスト教と教育〔2〕
- ・環境と文明〔4〕
- ・環境とキリスト教〔2〕
- ・キリスト教神学概論〔2〕
- ・倫理学概論〔4〕
- ・日本民俗学〔2〕
- ・日本のジャーナリズム〔2〕
- ・情報と倫理〔2〕
- ・アジアの歴史Ⅰ〔4〕
- ・アジアの歴史Ⅱ〔4〕
- ・日米関係論〔4〕
- ・国際政治論〔4〕
- ・国際協力論〔4〕
- ・国際関係思想〔4〕
- ・西洋文明と思想〔4〕
- ・平和論〔4〕
- ・平和構築論〔4〕
- ・世界史概論〔4〕
- ・ロシアの社会と文化〔4〕
- ・アメリカの文化〔4〕
- ・哲学概論〔4〕
- ・世界史における日本〔4〕

宗教学専攻プログラム

2 宗教学+地域研究分野

本履修モデルは、宗教学+地域研究分野(アメリカ地域研究、アジア地域研究、日本地域研究)に興味を持っている学生へのモデル・プログラムです。宗教を学び、現代を読み解く視点においてフィールドワーク(現地調査)に基づく研究は、大切な一つの方法論です。アジア・アメリカ・日本など具体的な地域の歴史や宗教文化、政治・経済などを学び、幅広い教養を身につけてください。

下記の推奨科目を基本にして履修計画を立ててみて下さい。その他、他専攻の科目から個人的に関心のある諸科目を適宜加えて下さい。そして専攻演習Ⅰ、Ⅱをできる限り履修し、先ずはゼミ論に集中して下さい。卒業論文は全員に推奨しています。

宗教学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入・基礎		CHR1020L	キリスト教史	2		ANT2110L	宗教学概論	4								
	◎	REL1000L	宗教学概論	4												
理論						LIT2030L	中国思想史	4		ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2				
						ETH2020L	日本思想史	4		AMS3130L	アメリカ思想史	4				
					◎	REL2300L	日本の宗教	4		ETH3320L	社会思想史	4				
					○	ANS2380L	アジアの思想と宗教	4		ANT3111L	儒教文化論	4				
						REL2350L	西洋文明と思想	4		ANT3112L	仏教文化論	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4		CHR3340L	キリスト教文化論	4				
										ANT3110L	イスラーム文化論	4				
応用						ETH2340L	倫理学研究特論A	2	◎	REL3150L	宗教学研究特論	2				
						PHL2371L	哲学の諸問題A	4		PHL3371L	哲学研究特論A	2				
						PHL2372L	哲学の諸問題B	4		PHL3372L	哲学研究特論B	2				
									◎	REL3130L	宗教学の諸問題	2				
									ETH3150L	倫理学の諸問題A	4					

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕
- ・民族研究〔4〕
- ・アジア研究特論〔4〕
- ・アジア女性論〔4〕
- ・東アジアの現代社会〔4〕
- ・文化社会学〔4〕
- ・環境とキリスト教〔2〕
- ・環境と文明〔4〕
- ・倫理学概論〔4〕
- ・日本史概論〔4〕
- ・アメリカ研究概論〔4〕
- ・アジア研究概論〔4〕
- ・日本文化論〔4〕
- ・日本民俗学〔2〕
- ・アジアの歴史Ⅰ〔4〕
- ・アジアの歴史Ⅱ〔4〕
- ・アメリカ社会史〔4〕
- ・日米関係論〔4〕
- ・国際政治論〔4〕
- ・国際協力論〔4〕
- ・国際関係思想〔4〕
- ・西洋文明と思想〔4〕
- ・アメリカ社会史〔4〕
- ・日本国憲法〔2〕
- ・日米交流史〔4〕
- ・日中交流史〔2〕
- ・日韓交流史〔4〕
- ・日露文化交流史〔4〕
- ・世界史概論〔4〕
- ・ロシアの社会と文化〔4〕
- ・アメリカの文化〔4〕
- ・哲学概論〔4〕
- ・世界史における日本〔4〕
- ・宗教と教育〔2〕

宗教学専攻プログラム

3 宗教学+心理教育分野

本履修モデルは、宗教学専攻プログラムをマイナーとして、心理学、教育学(教職教育)と同時に履修する場合のモデル・プログラムとして紹介します。心理学においては宗教及び宗教体験を中心に、人間存在の根拠を支えている宗教の影響を考察します。教育学(教職教育)においては、政教分離、信教の自由と関わる「教」とは何なのか、問い学ぶことから始めてはいかがでしょうか。

下記の推奨科目を基本にして履修計画を立てて下さい。その他、下記その他専攻の科目から個人的に関心のある諸科目を適宜加えて下さい。そして専攻演習Ⅰ、Ⅱをできる限り履修し、先ずはゼミ論に集中して下さい。卒業論文は全員に推奨しています。

宗教学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入・基礎		CHR1020L	キリスト教史	2		ENV2350L	人と自然	2								
	◎	REL1000L	宗教学概論	4												
理論						LIT2030L	中国思想史	4	○	PSY3146L	宗教心理学	2				
						ETH2020L	日本思想史	4		ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2				
					◎	REL2300L	日本の宗教	4		AMS3130L	アメリカ思想史	4				
						ANS2380L	アジアの思想と宗教	4		ETH3320L	社会思想史	4				
						REL2350L	西洋文明と思想	4		ANT3111L	儒教文化論	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4		ANT3112L	仏教文化論	4				
										CHR3340L	キリスト教文化論	4				
応用										ANT3110L	イスラーム文化論	4				
						ETH2340L	倫理学研究特論A	2	◎	REL3150L	宗教学研究特論	2				
						PHL2371L	哲学の諸問題A	4		PHL3371L	哲学研究特論A	2				
						PHL2372L	哲学の諸問題B	4		PHL3372L	哲学研究特論B	2				
									◎	REL3130L	宗教学の諸問題	2				
									CHR3150L	一神教研究	2					
									ETH3150L	倫理学の諸問題A	4					

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕
- ・東アジアの現代社会〔4〕
- ・現代アジアの教育と文化〔2〕
- ・教育・学校心理学〔2〕
- ・教育方法論〔2〕
- ・倫理学概論〔4〕
- ・教育概論〔2〕
- ・教育哲学〔2〕
- ・教育思想〔2〕
- ・国際協力論〔4〕
- ・情報と倫理〔2〕
- ・西洋文明と思想〔4〕
- ・日本国憲法〔2〕
- ・平和論〔4〕
- ・平和構築論〔4〕
- ・世界史概論〔4〕
- ・哲学概論〔4〕
- ・宗教と教育〔2〕

宗教学専攻プログラム

4 宗教学＋言語・文学分野

本履修モデルは、宗教学＋言語・文学分野(英語学・英文学、中国言語文化、日本語日本文学、日本語教育、言語学、コミュニケーション学、現代・世界文学)に興味を持っている学生へのモデル・プログラムです。

宗教は言語を介して営まれており、その営みの中には社会的・倫理的な現実が映し出されています。言葉の世界の中には[神的實在]、霊、救い、悟り、戒律など神秘的なものが息づき、メッセージがこめられています。そしてそれらを理解する際には多様な解釈の可能性が許されています。是非、宗教言語の世界にも挑戦してみてください。

下記の推奨科目を基本にして履修計画を立ててみてください。その他、下記の他専攻の科目から個人的に関心の持てる諸科目を適宜加えて下さい。そして専攻演習Ⅰ、Ⅱをできる限り履修し、先ずはゼミ論に集中して下さい。卒業論文は全員に推奨しています。

宗教学専攻プログラム科目

Level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入・基礎		CHR1020L	キリスト教史	2		ENV2350L	人と自然	2								
	◎	REL1000L	宗教学概論	4		ANT2110L	宗教人類学	4								
理論					◎	REL2300L	日本の宗教	4		AMS3130L	アメリカ思想史	4				
					○	ANS2380L	アジアの思想と宗教	4		ETH3320L	社会思想史	4				
						REL2350L	西洋文明と思想	4		ANT3111L	儒教文化論	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4		ANT3112L	仏教文化論	4				
										CHR3340L	キリスト教文化論	4				
										ANT3110L	イスラーム文化論	4				
応用						ETH2340L	倫理学研究特論A	2	◎	REL3150L	宗教学研究特論	2				
						PHL2371L	哲学の諸問題A	4		PHL3371L	哲学研究特論A	2				
						PHL2372L	哲学の諸問題B	4		PHL3372L	哲学研究特論B	2				
									◎	REL3130L	宗教学の諸問題	2				
										CHR3150L	一神教研究	2				
									ETH3150L	倫理学の諸問題A	4					

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕
- ・近代文学の世界〔4〕
- ・現代文学の世界〔4〕
- ・言語とジェンダー〔4〕
- ・中国文学概論〔4〕
- ・中国文化概論〔4〕
- ・日本史概論〔4〕
- ・日本語学概論〔2〕
- ・日本文化論〔4〕
- ・言語学への招待〔2〕
- ・アジアの歴史Ⅰ〔4〕
- ・アジアの歴史Ⅱ〔4〕
- ・東アジアの現代社会〔4〕
- ・文化社会学〔4〕
- ・イギリスの文化〔4〕
- ・現代コミュニケーション理論〔4〕
- ・世界史概論〔4〕
- ・ロシアの社会と文化〔4〕
- ・アメリカの文化〔4〕
- ・哲学概論〔4〕
- ・世界史における日本〔4〕
- ・宗教と教育〔2〕

宗教学専攻プログラム

5 宗教学＋社会科学分野

本履修モデルは、宗教学(人文科学分野)＋社会科学分野(国際関係、国際協力、社会学、国際経済、ビジネスエコノミクス、公共政策、メディア(ジャーナリズム)、博物館学)に興味を持っている学生へのモデル・プログラムです。

現代の情報化社会において、宗教の役割とは何でしょうか。営利活動といえども、「人に尽くす愛の精神」と無関係に成り立っているものはないと言えるでしょう。また国際社会において、諸々の世界宗教を知らずして対話や協力、共存や平和への道はありません。

下記の推奨科目を基本にして履修計画を立ててみて下さい。その他、下記の他専攻の科目から個人的に関心のある科目を適宜加えて下さい。そして専攻演習Ⅰ、Ⅱをできる限り履修し、先ずはゼミ論に集中して下さい。卒業論文は全員に推奨しています。

宗教学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入・基礎		GEG1100L	文化地理学	4		ENV2350L	人と自然	2								
		CHR1020L	キリスト教史	2		ANT2110L	宗教人類学	4								
	◎	REL1000L	宗教学概論	4												
理論						LIT2030L	中国思想史	4		PSY3146L	宗教心理学	2				
						ETH2020L	日本思想史	4		ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2				
					◎	REL2300L	日本の宗教	4		AMS3130L	アメリカ思想史	4				
					○	ANS2380L	アジアの思想と宗教	4		ETH3320L	社会思想史	4				
						REL2350L	西洋文明と思想	4		ANT3111L	儒教文化論	4				
						ANS2140L	韓国文化論	4		ANT3112L	仏教文化論	4				
										CHR3340L	キリスト教文化論	4				
応用									○	ANT3110L	イスラーム文化論	4				
						ETH2340L	倫理学研究特論A	2	◎	REL3150L	宗教学研究特論	2				
						PHL2371L	哲学の諸問題A	4		PHL3371L	哲学研究特論A	2				
						PHL2372L	哲学の諸問題B	4		PHL3372L	哲学研究特論B	2				
										CHR3150L	一神教研究	2				
									ETH3150L	倫理学の諸問題A	4					

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕

- ・キリスト教と教育〔2〕
- ・社会学概論〔4〕
- ・政治学概論〔4〕
- ・倫理学概論〔4〕
- ・日本史概論〔4〕
- ・情報と社会〔2〕
- ・情報と倫理〔2〕
- ・アジアの歴史Ⅰ〔4〕
- ・アジアの歴史Ⅱ〔4〕
- ・政治経済学〔4〕
- ・文化社会学〔4〕
- ・日米関係論〔4〕
- ・国際政治論〔4〕
- ・国際協力論〔4〕
- ・国際関係思想〔4〕
- ・西洋文明と思想〔4〕
- ・平和論〔4〕
- ・平和構築論〔4〕
- ・国際交流論〔4〕
- ・難民・移民の人権〔4〕
- ・人間の安全保障〔4〕
- ・国際関係史Ⅰ〔4〕
- ・国際関係史Ⅱ〔4〕
- ・世界史概論〔4〕
- ・アメリカの文化〔4〕
- ・哲学概論〔4〕
- ・世界史における日本〔4〕
- ・宗教と教育〔4〕